

- 問1 個人などの資金の出し手が銀行などの金融機関に預金を行い、その金融機関が企業などの資金の借り手に貸し出しを行う金融の仕組みを何といいますか。 (2017年 岩手県公立入試 類似)
1. 公定歩合 2. 消費者金融 3. 直接金融 4. 間接金融
- 問2 日本の金融の仕組みにおける「直接金融」と「間接金融」の違いについて述べたものとして、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
1. 直接金融では、企業が株式や社債を発行して投資家から直接資金を得るが、投資家は企業の倒産などのリスクを直接負うことになる。 2. 間接金融では、投資家が企業の株主となって経営に参加する権利を得るが、元本が保証されないという特徴がある。 3. 間接金融では、企業が証券市場を通じて不特定多数の投資家から資金を集めるため、銀行の審査を受ける必要がない。 4. 直接金融では、銀行が預金者から集めた資金を企業の求めに応じて貸し出すため、投資家が個別の企業の状況を判断する必要はない。
- 問3 日本銀行は、私たち個人や一般の企業とは直接取引を行わず、民間の銀行との間で資金の貸し出しや預金の受け入れを行います。このような中央銀行としての役割を何と呼びますか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
1. 政府の銀行 2. 発券銀行 3. 銀行の銀行 4. 国民の銀行
- 問4 日本銀行が実施する「売りオペレーション」と呼ばれる政策において、日本銀行と民間金融機関の間で行われる具体的なやり取りと、その直接的な効果を組み合わせたものとして正しいものはどれですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
1. 日本銀行が国債を「発行」し、日本銀行がそれを直接引き受けることで、市場の通貨量を「一定」に保つ。 2. 民間銀行が国債を「売り」、日本銀行から通貨を受け取ることで、市場の通貨量を「増加」させる。 3. 日本銀行が国債を「売り」、民間銀行から通貨を回収することで、市場の通貨量を「減少」させる。 4. 日本銀行が国債を「買い」、民間銀行へ通貨を支払うことで、市場の通貨量を「増加」させる。
- 問5 日本銀行の役割の一つである「政府の銀行」としての業務の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 山形県公立入試 類似)
1. 国民から預金を集め、その資金を公共事業に直接投資する。 2. 国が発行する国債の事務を行ったり、税金の受け入れを管理したりする。 3. 民間の金融機関に対して、資金が不足した際に貸し出しを行う。 4. 国内で流通する紙幣を独占的に発行し、通貨の価値を安定させる。
- 問6 日本銀行は「中央銀行」として、一般の銀行とは異なる特別な役割を担っています。このうち、民間の金融機関との間でのみ資金の貸し出しや預金の受け入れを行う役割を何と呼びますか。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)
1. 政府の銀行 2. 銀行の銀行 3. 企業の銀行 4. 発券銀行
- 問7 銀行が仲介する間接金融の仕組みにおいて、資金の出し手である「預金者」の状況について述べたものとして正しいものはどれか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
1. 銀行が貸し付けた企業が倒産しても、預金者は原則として預け入れた額の払い戻しを銀行に請求できる。 2. 銀行が受け取る貸出利息のすべては、そのまま預金者の利息として還元される仕組みになっている。 3. 預金者は銀行を通さず、企業の経営方針に直接関与する権利を持つ。 4. 預金者は、自分の預金がどの企業にどのような条件で貸し付けられるかを自由に決定できる。
- 問8 ある期間において為替相場が1ドル＝138円から1ドル＝148円へと変動しました。このとき、海外から80ドルの商品を輸入して円で支払う場合、支払額はどのように変化するか説明として正しいものを選びなさい。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
1. 円の価値が上がった（円高）ため、支払額は以前より800円増加する。 2. 円の価値が下がった（円安）ため、支払額は以前より800円減少する。 3. 円の価値が上がった（円高）ため、支払額は以前より800円減少する。 4. 円の価値が下がった（円安）ため、支払額は以前より800円増加する。
- 問9 日本の中央銀行である日本銀行が、「政府の銀行」として行っている業務として最も適切なものはどれですか。 (2018年 熊本県公立入試 類似)
1. 一般の家計から預金を預かり、企業への貸し出し業務を行う。 2. 地方公共団体が実施する公共事業の計画を策定し、予算を配分する。 3. 国債の発行や、税金など政府の資金の管理を行う。 4. 日本銀行券を発行し、世の中に出回る通貨の量を調節する。
- 問10 日本銀行は、日本の中央銀行として一般の銀行とは異なる3つの大きな役割を持っています。そのうち、民間銀行に対して資金の貸し出しを行ったり、決済のための口座を提供したりする役割を何と呼びますか。 (2025年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 銀行の銀行 2. 政府の銀行 3. 日本政策投資銀行 4. 発券銀行
- 問11 好況期において、日本銀行が「売りオペレーション」を行う主な目的と、その仕組みを説明した文として正しいものを次から選びなさい。 (2020年 島根県公立入試 類似)
1. 通貨の流通を活発にすることで失業率をさらに下げ、国民所得を増やすため。 2. 日本銀行の保有する国債を減らすことで、政府の財政赤字を解消するため。 3. 市場の通貨量を減らすことで金利を上昇させ、景気の行き過ぎを抑えるため。 4. 市場の通貨量を増やすことで金利を低下させ、企業の投資を促進するため。
- 問12 景気変動に対応する日本銀行の役割についてまとめた資料において、不景気時における「日本銀行」と「国債」の関係について正しく述べているものはどれですか。 (2020年 秋田県公立入試 類似)
1. 日本銀行が民間金融機関に国債を売ることで、通貨量を増やす。 2. 日本銀行が民間金融機関に国債を売ることで、通貨量を減らす。 3. 日本銀行が民間金融機関から国債を買うことで、通貨量を増やす。 4. 日本銀行が民間金融機関から国債を買うことで、通貨量を減らす。
- 問13 現代の経済における資金調達の仕組みにおいて、「直接金融」の説明として最も適切なものはどれですか。 (2021年 岐阜県公立入試 類似)
1. 企業が証券市場を通じて株式や債券を発行し、投資家から資金を調達する仕組み 2. 銀行などの金融機関が預金者から集めた資金を、企業や個人に貸し出す仕組み 3. 日本銀行が市中の資金量を調節するために、国債などを売買する仕組み 4. 家計から出された預金などが、金融機関の貸し出しを通じて社会全体の通貨量を増やす仕組み
- 問14 日本の中央銀行である日本銀行が、国内で唯一、日本銀行券（紙幣）を発行できる独占的な権限を持っていることを指す役割として、適切なものはどれですか。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
1. 発券銀行 2. 政府の銀行 3. 銀行の銀行 4. 管理通貨制度

答え合わせ・解説

問1	答え 4 間接金融	資金の出し手と借り手の間に銀行などの金融機関が介在する仕組みを間接金融と呼びます。個人は銀行に預金することで利子を受け取り、銀行はその預金を原資として企業へ貸し出しを行い、企業から利子を受け取ります。これに対し、企業が株式や債券を発行して投資家から直接資金を調達することを直接金融といいます。
問2	答え 1 直接金融では、企業が株式や社債を発行して投資家から直接資金を得るが、投資家は企業の倒産などのリスクを直接負うことになる。	直接金融は、投資家がどの企業の株式や社債を購入するかを自ら判断して投資を行うため、その企業が倒産した際のリスクを投資家自身が負うことになります。一方、間接金融は、銀行が仲介して資金を融資するため、預金者が特定の企業のリスクを直接負うことはありません。近年、日本では「貯蓄から投資へ」というスローガンのもと、直接金融の役割を拡大させる動きが見られます。
問3	答え 3 銀行の銀行	日本銀行は、一般の銀行（市中銀行）に対して資金を貸し出したり、銀行が保有する当座預金を受け入れたりする役割を担っています。これにより、金融システム全体の資金の過不足を調整し、経済の安定を図っています。一般の個人や企業とは取引を行わない点が、普通の銀行との大きな違いです。
問4	答え 3 日本銀行が国債を「売り」、民間銀行から通貨を回収することで、市場の通貨量を「減少」させる。	公開市場操作（オープン・マーケット・オペレーション）のうち、好景気時に行われるのが「売りオペレーション」です。日本銀行が主体となって国債を「売る」ことで、対価として民間銀行の資金を回収します。その結果、世の中の通貨（マネースtock）の供給が絞込まれ、物価の安定を図ることができます。選択肢にある「国債を買い、通貨量を増加させる」のは、不景気時に行われる「買いオペレーション」の説明です。
問5	答え 2 国が発行する国債の事務を行ったり、税金の受け入れを管理したりする。	日本銀行には3つの大きな役割がありますが、そのうち「政府の銀行」とは、国（政府）のお金を扱う業務を指します。具体的には、政府の資金である税金の管理や、政府の借金にあたる「国債」の発行・支払事務などの窓口となります。紙幣の発行は「発券銀行」、民間銀行への貸し出しは「銀行の銀行」としての役割です。
問6	答え 2 銀行の銀行	日本銀行は、私たち個人や一般の会社と直接取引を行うことはありません。取引の相手を民間の銀行などの金融機関に限定し、銀行が資金不足に陥った際に融資を行ったり、銀行が保有する当座預金を預かったりすることから、銀行のための銀行という意味でこのように呼ばれます。なお、国の税金や予算を管理する役割は「政府の銀行」、紙幣を発行する役割は「発券銀行」と呼ばれ、これらは日本銀行の三大機能とされています。
問7	答え 1 銀行が貸し付けた企業が倒産しても、預金者は原則として預け入れた額の払い戻しを銀行に請求できる。	間接金融では、銀行が自己の責任で企業への貸し出し判断を行います。そのため、貸し先の企業が経営破綻しても預金者への返済義務は銀行が負っており、預金者が直接的にその企業の倒産リスクを負うことはありません。これが、投資家が直接リスクを負う直接金融との大きな違いです。
問8	答え 4 円の価値が下がった（円安）ため、支払額は以前より800円増加する。	1ドルあたりの価格が138円から148円になることは、1ドルの商品を買うのに必要な円が10円増えたことを示しており、これを円安と呼びます。80ドルの商品を輸入する場合、以前は「 $138円 \times 80ドル = 11,040円$ 」の支払いでしたが、変動後は「 $148円 \times 80ドル = 11,840円$ 」となります。この差額を計算すると「 $11,840 - 11,040 = 800円$ 」となり、支払額が800円増加したことがわかります。
問9	答え 3 国債の発行や、税金など政府の資金の管理を行う。	日本銀行は、国が発行する国債の事務や、税金をはじめとする政府の資金（公金）の出納・管理を担当しており、この役割を「政府の銀行」と呼びます。これに対し、日本銀行券の発行は「発券銀行」としての役割であり、一般の家計からの預金受け入れは、日本銀行では行わない業務である点に注意が必要です。
問10	答え 1 銀行の銀行	日本銀行は、私たち個人や一般の企業とは直接取引を行わず、民間銀行などの金融機関との間で資金の貸し借りや決済を行うため「銀行の銀行」と呼ばれます。なお、国の税金などの出し入れを管理する役割は「政府の銀行」、紙幣（日本銀行券）を発行する役割は「発券銀行」と呼ばれ、これらが日本銀行の主要な3機能です。
問11	答え 3 市場の通貨量を減らすことで金利を上昇させ、景気の行き過ぎを抑えるため。	好況時に日本銀行が国債を売ると、民間金融機関が手持ちの資金を支払いに充てるため、市場の通貨量が少なくなります。お金の供給が減ると資金調達が難しくなり、金利（利子率）が上昇します。これにより、企業や個人の借り入れが抑制され、消費や投資の勢いが落ち着くことで景気の過熱が抑えられます。
問12	答え 3 日本銀行が民間金融機関から国債を買うことで、通貨量を増やす。	景気が停滞しているときは、世の中にお金が多めに循環するように、日本銀行が「買い手」となって市場に資金を供給します。民間金融機関から国債を買い入れるアクションは、銀行が保有する資産を現金化させることを意味し、これによって銀行は企業などへの融資を増やせるようになります。逆に景気が過熱しているときは、国債を売って通貨を回収する「売りオペレーション」が行われます。
問13	答え 1 企業が証券市場を通じて株式や債券を発行し、投資家から資金を調達する仕組み	直接金融は、資金の出し手（投資家）と借り手（企業など）が、証券市場を介して直接結びつくのが特徴です。一方、銀行が間に入って預金者の資金を貸し出す形態は「間接金融」と呼ばれ、日本の資金調達において長く中心的な役割を果たしてきました。
問14	答え 1 発券銀行	日本銀行は日本で唯一の「中央銀行」であり、日本銀行券を発行する独占的な権限を持っています。この役割を「発券銀行」と呼びます。このほか、民間の金融機関を相手に資金の貸し出しなどを行う「銀行の銀行」としての役割や、国庫金の出納などを行う「政府の銀行」としての役割を担っています。